

文豪と太宰府～夏目漱石と森鷗外～

明治の時代、二人の文豪が、ここ太宰府の地に降り立ちました。一人は新婚旅行中の夏目漱石。

もう一人は視察旅行中の森鷗外。

太宰府天満宮や都府楼は、文豪の目にどのように映ったのでしょうか。

作品（俳句・短歌・日記）をとおして二人の足跡を

追体験し、ことばのなかに立ち上がる風景を

捉えていきます。

●専門科目「作品研究」を

高校生向けにアレンジした授業です。

実際の授業で行った「文学散歩」の様子も紹介します。

短大の授業内容や雰囲気を知ることができるよ

●iPadを使い、国立国会図書館や

神奈川近代文学館所蔵のデジタル資料

（直筆原稿など）を閲覧します。



漱石のお見合写真も見られるよ



文学を、太宰府という歴史と文化の街に結びつけた授業です。